

(別添1)

令和6年度老人保健健康増進等事業

介護現場からのLIFE指標提案プロセスの開発に関する調査研究事業
株式会社三菱総合研究所

科学的介護情報システム（LIFE）を活用した科学的介護のさらなる推進に向けて、LIFEで収集する情報については、学術的な観点だけでなく、介護現場からの提案を踏まえ、必要に応じて見直すこととしている。本事業では、介護現場からの提案を介護報酬改定に取り込む仕組みについて、介護報酬改定のサイクルに合わせた具体的なプロセスの構築方法を調査・検討することを目的とした。

1. 事業概要

(1) 介護現場の提案を介護報酬改定に取り込むプロセス案の検討

介護現場よりLIFE指標候補の提案を受け、提案内容の精査の上、社会保障審議会介護給付費分科会における協議に至るまでのプロセス案を検討した。

(2) 有識者及び介護事業者の意見収集（ヒアリング調査）

1. で検討したプロセスに対し、関係団体および有識者より意見の収集を行った。科学的介護に関する学識者（2機関）及びLIFE活用経験のある介護事業者（団体推薦による3事業者）に加え、医療の質向上のための体制整備事業（厚生労働省委託事業）の関係者を対象とした。なお、本体制整備事業では、現場から指標提案を受け取りまとめ標準化するという類似プロセスを実施しており、先行事例といえるため、聞き取りを行った。

(3) 収集した意見をふまえたプロセス案の精緻化

2. で収集した意見をもとに、介護現場の提案を介護報酬改定に取り込むプロセス案の精緻化を行った。

(4) 報告書の作成

本事業の検討結果を報告書として取りまとめた。

2. 事業結果概要

ヒアリング調査によって得られた意見等を踏まえ、介護現場より受けた提案について、事務局が運営し、業界団体及びアカデミアの有識者で構成される作業部会において提案内容を整理の上、厚生労働省が運営し、業界団体及びアカデミアの有識者で構成される検討委員会において作業部会での検討内容を議論及び合意する体制案を作成した。また、介護報酬改定が3年おきであることを踏まえ、3年間のスケジュールで上記の検討を進めることを想定する。ただし、提案された指標がより詳細なフィジビリティ検証等を必要とする場合はその限りではない。

本事業により、介護現場からの提案を介護報酬改定に取り込む際の望ましい仕組みや具体的なプロセス、及び実施にあたり留意すべき点等について整理できた。